

実施報告

西興部村立西興部小学校

* 学級数 4 * 児童数 31名

支援員学校名	職名	氏名	専門分野
北海道網走南ヶ丘高等学校	教諭	鈴木 智子	地球

【ねらい】 小学校第4学年「月と星」、第6学年「月と太陽」の単元において、月の位置や形、星の動きなどを指導する際の ICT 機器の活用やモデル実験の指導方法を身に付ける。

【日時】 8月16日 10:00～11:30

【場所】 西興部村立西興部小学校理科室

【参加者】 14名（上興部小学校教職員を含む）

【内容】

- ・ 星座観察シートによる星座観察の工夫
- ・ 星座ソフトを活用した星座指導の工夫
- ・ 高度測定器、日時計の制作と太陽の動きの観察の工夫
- ・ 太陽と月の位置による月の見え方のモデル実験の工夫



【本事業の成果を活用した授業の改善】

本校では、支援員から学んだことを踏まえ、「月や星についての観察やモデル実験を効果的に教室で行う工夫」に取り組む。

1 第4学年「月や星の動き」

(1) 指導の工夫

- ・ 課題を「夏の大三角やカシオペア座の動きを調べよう。」と設定し、子どもたちに星座ソフトで星座が動くところを見せ、星座がどのように動いているかを疑似観察させ、気付いたことを交流させた。
- ・ 星座観察シートを作成し、家庭に持ち帰らせることで、星座の観察を促した。

(2) 授業での児童の様子

- ・ 時間とともに星が動くことを知っている児童も、疑似観察を通して、「星座は、時間がたつと、星の並び方は変わらずに位置が変わる」ことに驚き、実感を伴う学びができた。
- ・ 星座観察シートがあることにより、星座を見つけやすく、主体的に観察する動機付けとなった。



2 第6学年「月と太陽」（指導の改善：12月に実施予定）

(1) 昨年度の指導の実際

(2) 本年度の指導計画

課題 月の形や、月と太陽の位置を調べよう。	
展開	1 月の形と位置を調べて記録する
建物や木など目印を基準に月の位置を記入 高度測定器を使って高さを記入	
展開	1 月の形と位置を調べて記録する

高度測定器活用のよさ

- ・ 高度測定器を使うことにより、数値による測定が可能となり、高さの違いが明確になる。
- ・ 道具を使うことで観察に対する意欲が高まる。

